

子ども・子育て支援の基本理念等について

1 新制度（案）

1 基本理念（修正版）

子どもは、社会の希望であり、未来をつくる、かけがえのない大切な存在です。

子どもたちの健やかな成長を願い、地域の人々の優しさに包まれて子どもが育つ環境づくり、大切な子どもたちの笑顔が街にあふれる地域社会づくり、そして子育てに喜びを感じることができるまちづくりの実現を目指します。

子育てを支えるすべての施策は、子どもの幸せと健やかな成長を第一に願うものです。子育てについての第一義的な責任は、父母その他保護者が有するという基本的認識に立った上で、その子育てを、家庭、行政、学校、企業、地域が一緒になって「みんな」で支えていく、その理念はこれからも変わることはありません。

その中で、子どもたちは、盛岡というまちへの思いを深めながら、次代の担い手となっていきます。

子どもを産み育てたいと思う人々の希望がかなえられ、子育てに喜びや生きがいを感じることができ、子育ての喜びを地域社会全体で実感し、分かち合えるまちづくりを目指します。

2 基本的な視点

本計画の策定にあたっては、次の3つの視点を基本とします。

(1) 子どもの幸せを考える視点

すべての子どもが大事にされ、健やかに成長できるような「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指します。

子ども一人ひとりが、かけがえのない個性ある存在として、自己肯定感をもって成長できるよう、すべての子どもと家庭を対象として実情に配慮した取組を進めます。

(2) 安心して子育てができる視点

男女共に保護者がしっかりと子どもと向き合い、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じて、親として成長できるような支援に取り組みます。

子どもの成長過程や多様なニーズに対応した質の高いサービスを確保しながら、子育てを通じ、親と子がともに成長できるような取組を進めます。

(3) 地域社会みんなで子育てを支援する視点

すべての人々が子どもや子育て支援について、関心と理解を深め、協働してそれぞれの役割を果たすことが必要です。

子育て支援の活動を行う団体など地域の社会資源の十分な活用に努めながら、地域社会全体で子育てを支える取組を進めるとともに、子育てと仕事が両立できるようワーク・ライフ・バランスの視点に立った取組を進めます。